

(様式第 1 号)

平成 30 年 5 月 2 日

認定介護福祉士認証・認定機構
理事長 様

領 域 名 : リハビリテーションに関する領域
科 目 名 : 生活支援のためのリハビリテーションの知識
単 位 数 : 2
認証申請する研修の名称 : 認定介護福祉士養成研修

団体名 : 公益社団法人
日本介護福祉士養成施設協会
群馬県介護福祉士養成校協議会 一般社団法人 群馬県介護福祉士会
団体事務所 : 〒371-0823 〒371-8525
の所在地 群馬県前橋市川曲町 191-1 群馬県前橋市新前橋町 13-12
電話 : 025-253-0294 027-255-6226
FAX : 027-254-0294 027-255-6173
E-mail : shimizu-k@shoken-gakuen.ac.jp

下記書類を添えて上記科目に対する研修の認証を申請します。

団体代表者 : 鈴木 利定 ㊞

団体代表者 : 小池 昭雅 ㊞

申請責任者 : 白井 幸久

記

○認定介護福祉士研修認証申請書 (別紙 1 ~ 3)

<機構使用欄>

受付	
確認	
委員付託	
追加連絡	
評価報告	
理事会承認	
認証番号	

認定介護福祉士研修認証申請書

申請年月日	平成 30 年 5 月 2 日
申請団体名	公益社団法人 日本介護福祉士養成施設協会 群馬県介護福祉士養成校協議会 一般社団法人 群馬県介護福祉士会
申請団体代表者氏名	鈴木 利定 小池 昭雅
申請責任者職名 申請責任者氏名	群馬医療福祉大学 短期大学部 教授 白井 幸久
団体住所 同 Tel・Fax メールアドレス	群馬医療福祉大学短期大学部 〒371-0823 群馬県前橋市川曲町 191-1 Tel : (025)-(253)-(0294) Fax : (027)-(254)-(0294) E-mail <u>shimizu-k@shoken-gakuen.ac.jp</u> 一般社団法人 群馬県介護福祉士会 〒371-8525 群馬県前橋市新前橋町 13-12 Tel : (027)-(255)-(6226) Fax : (027)-(255)-(6173)
申請対象の領域	領域名 : リハビリテーションに関する領域
科目名 (単位数)	科目名 : 生活支援のためのリハビリテーションの知識 (2 単位)
申請する研修名	認定介護福祉士養成研修
研修認証実績	年 認証番号 () 年 認証番号 () 年 認証番号 ()
その他特記事項	

(別紙2) 認定介護福祉士研修認証

認証申請科目に対する研修の内容

申請対象の領域	リハビリテーションに関する領域	
科目名	生活支援のためのリハビリテーションの知識	
(1) 提供する研修について		
研修名	認定介護福祉士養成研修	
教育目的	<ul style="list-style-type: none"> ・リハビリテーションの理念や知識を活用し、リハ職種と連携しつつ生活を支援することができる力を育成する。 	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・リハビリテーションの理念と ICF（国際生活機能分類）の考え方を理解し、生活リハの視点を持つことができる。 ・関節・骨格筋・神経などの構造に関する知識を活用して運動学的に分析・評価する視点を持つことができる。 ・病的な状態であっても、可能な動作を考え、支援することができる。 ・心理的な知識・技術（人間関係論・コミュニケーション手法等）を活用し、利用者の意欲を引き出す視点を持つことができる。 ・リハ職種との連携・協働を行うために必要な視点や知識を習得し、連携・協働ができる。 	
研修内容（研修プログラム）	含むべき内容	研修プログラム
	<ul style="list-style-type: none"> ○リハビリテーションの理念 ○心身の評価とアプローチ ○各日常生活動作における各関節・筋の運動、および上肢・体幹・下肢の相互関係 ○運動学的視点を生活支援に活かす考え方 ○生活支援の中で活かすリハビリテーションの視点 ○心理的な理解を生活支援に活かす考え方 ○リハ職種との連携・協働を行うために必要な視点と知識 	<ul style="list-style-type: none"> ・事前課題①（4時間） リハビリテーション関連職の職種とその役割について4,000字程度にまとめて持参すること。その際、医学的リハビリテーションに限定せず、広い視野でとらえること。 ・講義①（2時間） リハビリテーションとは何か、歴史的背景から始まり、領域ごとのリハビリテーションの考え方について述べる。 ・講義②（2時間） 医学的リハビリテーション領域における病期の捉え方と、専門職の役割について述べる。 ・講義③（2時間） 医学的リハビリテーションにおける専門職（PT）の実施過程について解説を行う。評価から始まり、ICFの考えをもとに障害の分類とその構造を明らかにする。 ・講義④（2時間） 心身の評価について、身体および精神機能の代表的な検査測定項目の内容と具体的な検査法について解説を行う。また障害を負ったためにおこる心理的変化についても述べる。 ・講義⑤（2時間） 代表的な疾患（片麻痺、変形性関節症、

		<p>パーキンソン、骨折)における基本動作の特徴と、介助方法について述べる。杖や車椅子の使い方にも触れる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義⑥(2時間) 生活支援における、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・義肢装具士などとの関わりについて述べる。また介護福祉士との関わりや役割の違いについて述べる。 ・事後課題①(4時間) 今後の介護実践における多職種との関わりと分担について、具体的に職場におけるケース(症例)を通して、その違いと協働作業の重要性について、4,000字程度にまとめ提出すること。
研修方法	<p>■通学課程 ■課題学習</p> <p>○集合研修は講義と演習を組み合わせる。 ○課題学習は事前・事後課題としてレポート課題を課す。評価は担当講師が行う。</p>	
研修時間	20時間(8時間分までをレポートで実施)	
修了要件	<ol style="list-style-type: none"> 1.当該科目の対面授業の全課程に出席していること。 (出欠席・遅刻・早退の取り扱いは別紙4のとおり) 2.事前・事後レポート、計画書等の提出の指示がある科目の場合、提出期限内に提出し合格していること。 3.当該科目が示す修了評価において、C評価以上であること。 <p>*修了評価について 筆記試験及びレポート試験の評価は別紙5の評価基準を用いて実施する。</p>	
講師要件(講師の選定基準)	<p>*当該科目における十分な知識、専門性を有し、講師等の教育経験がある者 *補助者についても当該科目における十分な知識・専門性を有し、講師などの教育経験がある者</p>	
(2)受講者について		
受講対象(受講要件)	単位取得できるのは介護福祉士資格を有するものであること。	
修了評価(習得度、研修成果)	<p>到達目標に達しているかをレポート試験及び筆記試験を実施し、別紙5の評価基準に照らして実施する。 尚筆記試験は50問で実施し、100点満点中60点以上で合格(修了)とする。</p>	
(3)研修の環境条件		
定員(講師の配置基準)	<p>30名(講師2名) 演習時も同一の講師が行う。 *講師2名。補助講師(ファシリテーター)の配置については、当該講師の授業運営に応じ、適切に配置する。 *尚、その際には当該講師が意図したことを理解し、適切な介入ができる能力を有する者であり、受講生8~10名に対し1名を置くものとする。</p>	
開催場所(都道府)	群馬県	

県)	
----	--

コマシラバス（対面授業 60 分授業 12 回分）

回数	科目名（回ごとの項目）	時間(分)	内容
1	リハビリテーションの基礎	120	ハビリテーションとは何か、歴史的背景から始まり、領域ごとのリハビリテーションの考え方について述べる。
2	医学的リハビリテーション領域	120	医学的リハビリテーション領域における病期の捉え方と、専門職の役割について述べる。
3	リハビリテーションの実施過程	120	医学的リハビリテーションにおける専門職（PT）の実施過程について解説を行う。評価から始まり、ICF の考えをもとに障害の分類とその構造を明らかにする。
4	心身機能の評価	120	心身の評価について、身体および精神機能の代表的な検査測定項目の内容と具体的な検査法について解説を行う。また障害を負ったためにおこる心理的变化についても述べる。
5	代表的な疾患におけるリハビリテーション	120	代表的な疾患（片麻痺、変形性関節症、パーキンソン、骨折）における基本動作の特徴と、介助方法について述べる。杖や車椅子の使い方にも触れる。
6	生活支援における専門職との関わり	120	生活支援における、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・義肢装具士などとの関わりについて述べる。また介護福祉士との関わりや役割の違いについて述べる。

(別紙3) 認定介護福祉士研修認証更新

認証更新申請する研修の実施体制等 (届出事項)

(1)研修の実施予定	
実施日	① 平成30年 9月
	②
	③
開催場所 (会場)	① 群馬医療福祉大学 前橋キャンパス
	②
	③
(2)講師	
担当、氏名及び略歴	<p>小島俊文 群馬医療福祉大学教授 (職歴) リハビリテーションセンター鹿教湯病院・他勤務 (講師研究活動) 学校法人未来学園 群馬医療福祉大学リハビリテーション学部 (担当講義等) リハビリテーション入門 理学療法概論・他</p>
	<p>柴ひとみ 群馬医療福祉大学准教授 (職歴) 理学療法士として済生会前橋病院勤務 (講師研究活動) 群馬医療福祉大学リハビリテーション学部 群馬県理学療法士協会理事 (担当講義等) 運動学・地域理学療法学他</p>
(3)実施体制	
研修の企画運営の組織 (担当部局・人員)	<p>認定介護福祉士養成委員会(13 名) 群馬県健康福祉部 介護高齢課 1名(オブザーバー) 群馬県介護福祉士養成施設協会 1名 群馬県介護福祉士会 1名 群馬県老人福祉施設協議会 1名 群馬県老人保健施設協会 1名 群馬県地域密着型サービス 連絡協議会 1名 群馬医療福祉大学 2名 短期大学部(事務局) 2名 運営担当 群馬医療福祉大学 短期大学部 3名 ・研修委員会において各科目の教育目的や到達目標を確認し、担当 講師と科目間の連関や留意点について共有する。 ・研修委員会のメンバーは研修の補助を行いつつ、研修内容の整合 や新たに含むべき内容があるかなど、研修見直しの一助も担う</p>
研修の企画運営に関する 諸規程	研修委員会設置要綱

研修管理責任者職名	群馬医療福祉大学 短期大学部 教授
研修管理責任者氏名	白井 幸久
機構問合せ先部署	群馬医療福祉大学 短期大学部 事務局
機構問合せ先担当者氏名	矢嶋 栄司
機構問合せ先電話番号/FAX	電話 027-253-0294 / FAX 027-253-0294
機構問合せ先 e-mail アドレス	shimizu-k@shoken-gakuen.ac.jp
受講問合せ先部署	群馬医療福祉大学 短期大学部 事務局
受講問合せ先担当者氏名	矢嶋 栄司
受講問合せ先電話番号/FAX	電話 027-253-0294 / FAX 027-254-0294
受講問合せ先 e-mail アドレス	shimizu-k@shoken-gakuen.ac.jp
(4)研修履歴の管理体制	
受講者への付与単位部門	群馬医療福祉大学 短期大学部 事務局
受講履歴の管理方法	<ul style="list-style-type: none"> *紙媒体及びデータによる台帳管理する。 *外付けディスクにバックアップデータを保管する。 *データの保存期間は10年間とし、その後は外付けディスクにてデータを保管する。 *個人情報の取り扱いにあたっては、法律を遵守する。
受講履歴の証明	全課程を修了した者には認定介護福祉士養成委員会、により修了証書を発行する。
管理責任者氏名	白井 幸久
管理担当者氏名	矢嶋 栄司